

山伏から八紘嶺

2012年11月4日(日)

リーダー：磯部N メンバー：ふじ、磯部N、小楠、山口

前夜、下山地梅ヶ島温泉駐車場で仮眠、自転車をデポし、早朝に登山口である西日影沢の駐車場に移動。歩行時間は少々長いが周遊コースを歩き始める。上部では紅葉が美しく、また富士山の裾野を広げた優雅な姿を見ることができ、気持ちの良い（新人には達成感もある）コースだった。



立派な木橋が3カ所ほどかかっていた。年々整備されているようだ。



足場も良く、快適な登山道。ただずっと登り・・・。



頂上付近は、広く緩やかな笹原となっていて開放感にあふれている。



いつ来ても頂上付近は最高のビューポイント！
運良く快晴、しかも白帽子をかぶってる！



山伏から八紘嶺への縦走路。
前半新窪乗越まではなだらかな下りでハイキング。



日本三大崩れの一つ、大谷崩れ。
ここを下って戻るコースも人気。



縦走路後半、登りが大変だった大谷嶺。
お昼寝新人とぐったり新人。



八紘嶺へ向かう。これからアップダウンが続く。
道も前半に比べれば少し険しくなる。



八紘嶺頂上。富士山を見ながら渋くコーヒータイム。



夕日に染まり始めた晩秋の名山……。
わびさびの世界が……。(わさびではない)

八紘嶺を過ぎると初めはなだらかな下りだが、だんだん傾斜がきつくなりぐんぐん下っていく。
途中その名の通り富士見台から、優しい富士山に目を奪われる。
予定よりも時間がかかり、下山口まであと1時間という、安倍峠に向かう林道と交わるところでヘッドランプを出す。
そこは本来、車が入ることができて下山口となるところだが、昨年秋の台風被害から復旧されていないため、梅ヶ島温泉から通行止めとなっていた。

道はしっかりしているため、問題なく梅ヶ島温泉に下山。ここから磯部Sは自転車に乗って車を回収に向う。
約7キロ。新田からの登りは予想以上にきつく、半分は引いて歩いた。
黄金の湯で待ち合わせしたが残念ながら19時でおしまいという悲劇。あきらめず静岡市街で入浴し、充実感いっぱい無事浜松に帰った。

<タイム> 西日影沢登山口(6:20)－蓬峠(8:00)－山伏岳頂上(10:05-25)－新窪乗越(12:00)－大谷嶺(12:55-13:15)－八紘嶺(15:00-20)－
梅ヶ島温泉(17:55)

以上